

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	広島大学	整理番号	F - 1
拠点のプログラム名称	放射線災害医療開発の先端的研究教育拠点		
中核となる専攻等名	原爆放射線医科学研究所		
事業推進担当者	(リ-ダ-) 神谷 研二 外14名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>大規模な原子力災害や不安定な国際情勢は、人々に放射線災害の不安を与えている。原爆被爆者や世界に拡大する被曝者のほか、医療や職業被曝、さらには宇宙開発に伴う被曝など、放射線被曝による健康問題は世界の課題となっている。放射線被曝は、ゲノム障害を起こし、これが原因となり多臓器不全に代表される急性障害やがんなどの晩発障害を起こす。本計画では、放射線障害におけるゲノム障害・修復研究や多臓器不全での再生医学研究を基盤として、高線量被曝での緊急被曝医療開発からがんなどの晩発障害の病態解明とその治療開発を統合的・体系的に推進する。原爆医療で蓄積した世界一の研究資産の上に、ゲノム障害研究の科学的エビデンスに基づいた世界で唯一最大の21世紀の放射線災害総合医療開発拠点を確立し、次世代の研究者・医師を養成し世界に輩出する。この研究成果は、ゲノム障害医学を確立し、ゲノム障害に起因するがん、生活習慣病や老化の機構解明、広く他の災害医療、遺伝子モニター法による予防医学に応用し得るものであり、原子力平和利用の安全ネットにもなり得る。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>本研究は原爆医療で蓄積した世界の研究資産の上にゲノム障害研究の科学的エビデンスに基づいた放射線災害総合医療開発を目指す時代の要求に叶った拠点形成計画であることを評価する。万一の放射線災害に対する適切な対応は原子力時代における社会的要請であり、本施設はこの分野で日本のみならず、国際的な拠点になることが期待できる。</p>			